



産業廃棄物処理計画実施状況報告書等提出シート

下記 1 の書類について、別添のとおり提出します。

記

1 提出書類 ＜該当を選択＞	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画書 (PDF・書類 1部) <input type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (PDF・書類 部) <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画書 (PDF・書類 部) <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (PDF・書類 部)
2 提出者	(住所) 〒 尼崎市内一円 (名称・代表者氏名) 尼崎市内各工事現場
3 対象事業場	(所在地) 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 6-20-12 a b c d ビル 3階 (名称) トヨタ T & S 建設株式会社 西日本支社 (事業場コード(6桁)) 200192
4 事業場データ (報告データ)	(業種コード(4桁)) 06 (業種名) 総合工事業 (フレーム:完成工事高) 300700 万円 (廃棄物発生場所地域名) <該当地域に○印をしてください。>※ 11 神戸市、12 尼崎市、13 姫路市、14 西宮市、 21 阪神南、22 阪神北、23 東播磨、24 北播磨、25 中播磨、26 西播磨、 27 但馬、28 丹波、29 淡路 ※ 地域は政令市・県民局単位。複数地域にまたがる場合、第2面は地域ごとに作成ください。
5 ご担当者	(所属) 経営管理部 工事管理グループ (氏名) 櫻井 祐治 (電話) 06-6458-0333 (FAX) 06-6453-5776 (E-mail) sakurai1978@toyota-ts.co.jp

(建設業)

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 26日

尼崎市長 殿

提出者



住所 大阪府大阪市福島区福島6-20-12
a b c dビル3階

氏名 トヨタT&S建設株式会社
西日本支社長 田渕博也

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6458-0333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	尼崎市内各工事現場
事業場の所在地	尼崎市内一円
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	3,007百万円（令和4年度実績）
③従業員数	23人（令和5年4月1日実績）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙一覧表の通り t	t
	(これまでに実施した取組) コンクリートがらを粉砕し場内リサイクルに努めた 分別を徹底し、混合物を減らし再資源化できるよう努めた 梱包材を極力簡易化し、現場へ納品させる (紙類削減)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙一覧表の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記取組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 2020建設系混合廃棄物(管理型)(紙くず、木くず)以外はすべて分別し バックカンに保管。 2020建設系混合廃棄物(管理型)(紙くず、木くず)はシートがけ保管。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組みを継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙一覧表の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙一覧表の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙一覧表の通り t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙一覧表の通り t	t
(これまでに実施した取組) 該当無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙一覧表の通り t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙一覧表の通り t	t
(今後実施する予定の取組) 該当無し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙一覧表の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙一覧表の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙一覧表の通り t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 2440がれき類(石綿含有廃棄物)以外は再生利用業者へ委託した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙一覧表の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記取組みを継続する		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

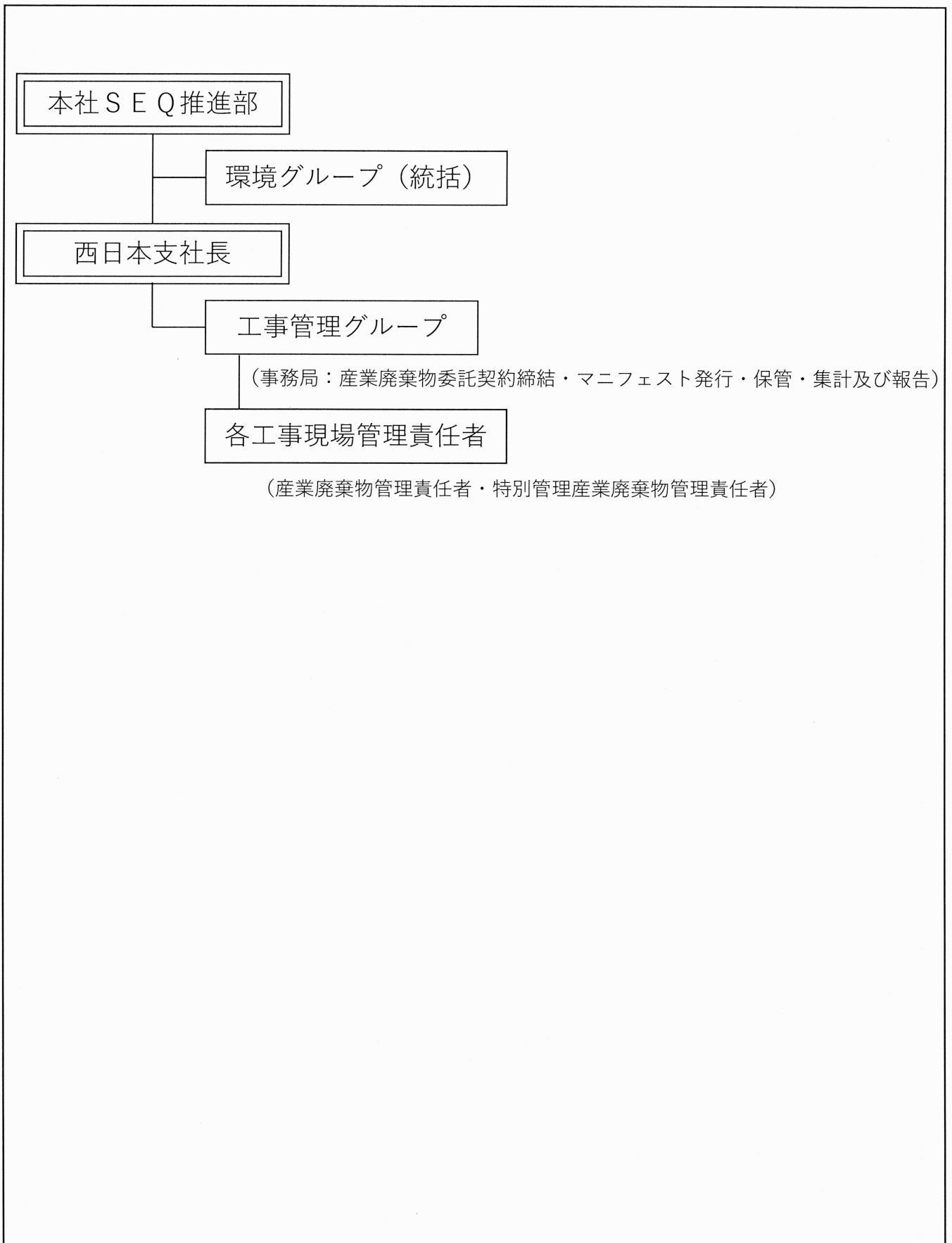
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

◆建設工事（建築工事・解体工事）

- 0600 廃プラスチック類 → 中間処分業者に委託し、再資源化
- 1300 ガラスくず、コンクリートくず
及び陶磁器くず → 中間処理業者に委託し、再資源化
- 1500 がれき類 → 再生利用業者に委託し、再生砕石や再生路盤材として再資源化
- 2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）
（紙くず、木くず） → 中間処理業者に委託し、選別・粉砕処理し、再利用できるものは再資源化再生利用し、できないものは管理型最終処分場に埋立
- 2440 がれき類（石綿含有産業廃棄物） → 最終処分業者に委託し、管理型処分場に埋立

別添2 管理体制図



別紙 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

実績：前年度（ 令和4年度）実績量

目標：今年度（ 令和5年度）目標量

単位：トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
0600 廃プラスチック類	2.80	2.520	0	0	0	0	0	0	0	0	2.80	2.520	0	0	2.80	2.520	0	0	0	0
1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	54.00	48.600	0	0	0	0	0	0	0	0	54.00	48.600	0	0	54.00	48.600	0	0	0	0
1500 がれき類	974.99	877.491	0	0	0	0	0	0	0	0	974.99	877.491	0	0	974.99	877.491	0	0	0	0
2 建設系混合廃棄物(管理型含む)(紙くず、木くず)	113.00	101.700	0	0	0	0	0	0	0	0	113.00	101.700	0	0	113.00	101.700	0	0	0	0
2440 がれき類(石綿含有産業廃棄物)	22.20	19.980	0	0	0	0	0	0	0	0	22.20	19.980	0	0	0.00	0.000	0	0	0	0
合計	1166.99	1050.291	0	0	0	0	0	0	0	0	1166.990	1050.291	0	0	1144.79	1030.311	0	0	0	0